

地域貢献度の高い 信用金庫をめざして

理事長 園田和彦



ごあいさつ

平素は兵庫信用金庫に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、当金庫の経営理念、事業方針をはじめ、財務、業務内容や地域貢献活動について分かりやすくお伝えし、より一層のご理解をいただくことを願い「兵庫信用金庫の現況2019」を作成いたしました。是非ご高覧いただき、当金庫が更に皆さまのより身近な金融機関になることができれば幸いです。

さて、本年5月1日に天皇陛下のご即位があり、「平成」という時代が幕を閉じ、「令和」という新たな時代が始まりました。

30年余り続いた平成を経済面から簡単に振り返れば、前半から中盤にかけては、バブル崩壊後のデフレ・スパイラルに苦しみ、後半は、その脱却を目指したアベノミクス政策により、経済は若干拡大基調になったものの、総じて実感に乏しいものでありました。そして、この間世界に於ける日本の存在感は、中国や新興国の台頭の中で、相対的に縮小を余儀なくされてきたと言えます。

もう少し詳しく見ると、平成の始まりは、地価高騰や好調な企業業績に誰しもが所謂「バブル景気」に踊り、平成元年の年末に日経平均株価は38,915円となり、史上最高値を記録しました。

しかしながら、平成2年3月に景気の過熱懸念か

ら不動産融資を抑制するための「総量規制」が課せられたこと等を端緒に「バブル景気」が崩壊に向かい、その結果、金融機関は膨大な不良債権を抱えることになり、平成7年に地方金融機関の破綻、平成9年～平成10年にかけては、大手の銀行・証券会社が相次いで破綻するなど金融危機が発生しました。また、平成20年には米国大手証券会社の破綻を端緒とした「リーマンショック」による世界金融危機もあり、同年10月に日経平均株価は、バブル経済崩壊後の最安値となる6,994円をつけるに至り、日本経済は「失われた20年」と言われる長期低迷期が更に続く事態になりました。

その後、平成24年に第2次安倍内閣が誕生し、金融・財政・成長戦略の3本の矢からなる「アベノミクス」の登場と、翌年の「異次元の金融緩和政策」が実施されて以降は、大手企業を中心に業績の回復も見られ、過去最高益を更新する企業も相次ぎ、その景気拡大期間は高度成長期の「いざなぎ景気」を超えたとも言われていますが、成長率は1%前後と比べるまでもなく、経済再生の道半ばといったところがあります。

このような平成経済の足取りの中、新しい時代を迎えたわけではありますが、グローバルな観点では、世界経済の成長鈍化懸念、米中貿易摩擦と日米貿易交渉の行方、米国の保護主義的な政策、英国のEU離脱問題等があり、国内では、人口減少・少子高齢

化・労働力不足等の構造的要因や短期的には本年10月から予定されている消費税増税など、対応次第では今後長期に亘り、成長を阻害する要因になり得る課題が山積している状況であります。

また、金融機関を取り巻く経営環境は、マイナス金利政策の長期化や貸出金利低下による利鞘の縮小、有価証券運用益の確保困難といった収益環境の悪化及び上記の国内が抱える問題、急速に進むフィンテック等のIT化への対応により一段と厳しさを増しています。

このような経済金融環境の中、平成30年度の当金庫は、「顧客」、「組織」、「職員」の3つの観点を中心とした「第8次中期経営計画」の5つの基本方針、1.「情報リレーション営業の実践、事業性評価の推進」、2.「お客様本位の良質な金融サービスの提供」、3.「営業力の強化と収益・財務基盤の持続的な安定」、4.「業務効率化、業務プロセスの見直し・改善の推進」、5.「人材の育成強化と活躍の促進」のもとに質の高い金融サービスの提供を目指し、役職員一同、営業活動に努めてまいりました。

その結果、平成30年度の当金庫の業績は、厳しい経営環境の中ではありましたが、預金・貸出金ともに増加し、預金の期末残高については、前期比21億円増加の6,903億円、貸出金の期末残高については、前期比23億円増加の3,287億円となりました。また、収益面では、経常利益770百万円、当期純利益712百万円を計上することができました。

令和元年度は、「第8次中期経営計画」の最終年度となりますが、経営計画の目標とする「顧客や地域から真に必要とされる金融機関」の実現に向けて、役職員一同、引き続き営業活動に取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後ともご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆様のご健勝とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

以上

令和元年6月

CONTENTS

金庫の概要

- 当金庫の概要 02
- 令和元年度の事業方針 03
- 兵庫信用金庫と地域社会 04

経営体制

- 総代・総代会 06
- 組織・役員一覧 08

リスク管理体制

- 内部管理基本方針 09
- リスク管理体制 10
- コンプライアンス態勢 12
- お客様保護態勢 13

地域密着をめざして

- 中小企業の経営支援 17
- お客様満足度調査の実施報告 20
- 環境推進・地域貢献活動 22
- 職場環境向上への取組み 24
- 沿革・トピックス 25

営業のご案内

- 営業のご案内 26
- 手数料一覧 32

資料編(財務内容)

- 開示項目一覧 34
- 平成30年度の業績 35
- 財務諸表 36
- 主な経営指標 41
- 預金・貸出金 42
- 有価証券に関する指標 44
- その他の経営指標 47
- 子会社等に関する事項 50
- 自己資本の充実の状況について 54

店舗のご案内

- ひょうしんのネットワーク 64



コンセプトは未来。ひょうしんのシンボル「のじぎく」を表現しています。アーチ状になったたくさんの丸はテクノロジーとともに皆さまのニーズにお応えしながら、お客様とともに歩みつけていくひょうしんと、お客様の未来のために、ニーズにあった対応を常に心がける強いリーダーシップ精神を表しています。